

---

# 友人

VISIA

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

友人

### 【Nコード】

N2457V

### 【作者名】

V I S I A

### 【あらすじ】

友人からの最後の願いでした

**(前書き)**

少し大人向けの話かもしれませんが。

友人が亡くなったという話を聞いた次の日、その友人から手紙が届いていた。

手紙には、

時間が惜しいから簡潔に記す。

この手紙が届いたら、自分の部屋に来てくれ。

机の上にデジカメが置いてあるから、壁のポスターの写真をとってくれ。

後はデジカメを、パソコンに繋いでその写真を取り込ませたら、USB接続してある赤いボタンを押してくれ。

以上だ。

と、書いてあった。

友人に500円ほど借りっぱなしだったため、最後の願いくらいは叶えてやろうと思い、後日友人の部屋を訪ねた。

手紙に書いてあった通り写真を撮ると、友人の穏やかな笑顔の心霊写真が撮れた。

その写真をパソコンに取り込ませて、隣の赤いスイッチを押した。

うーん

パソコンが暫くうなりをあげると、画面に文字が出てきた。

実験は成功だ。データ化した私の霊体は、通常意識を保ったまま…

何かのゲーム画面に切り替わった。その中に友人の姿があった。

この2次元の世界で思う存分…

途中でパソコンがフリーズしてしまった。パソコンを再立ち上げしていいものか思案しているうちに電源が落ち、どうやらパソコンが壊れてしまったようだった。

仕方なく、自費でそのパソコンを修理に出した。

数日後、戻ってきたパソコンの電源を入れると、ゲーム中で友人が登場キャラと仲良く遊んでいた。

その様子を見ていて少しイラツとして、友人をマウスのカーソルで捕まえて18禁リアルの世界へ移してあげた後、パソコンの電源を落として押し入れにしまった。

(後書き)

数カ月が過ぎて、友人の事を思い出して押し入れからパソコンを出してきた。

電源を入れてみると、パソコンのHDDが”子供”のファイルで一杯になっていた。

全てのファイルが保護されていた。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2457v/>

---

友人

2011年10月6日18時01分発行